

# 学校法人東京女子大学 2010 年度事業計画

## 2010 年度事業計画の方針について

2010 年度は現代教養学部開設 2 年目である。

2010 年度事業計画は、教育の質をさらに高め発信できるように、次の 3 つの項目を柱に据えて大学改革を押し進めていく。

(1)2009 年度に受審した(財)大学基準協会による認証評価結果の総評及び助言を踏まえた改善事項への取り組みを行っていく。(2)ソフト面では、主として新学部の教育活動の円滑な実施と既設学部の教育の充実、及び大学院修士課程再編の検討を行う。(3)ハード面では教育研究環境を整えるためのキャンパス整備計画を引き続き行っていく。

これらに加えて創立 100 周年に向けた中・長期計画の策定に着手する。

## . 2010 年度事業計画の概要

### 教育の質の向上と経営基盤の強化を図るために重点的に取り組む事項

2009 年度(財)大学基準協会による評価結果を受けて、本学の教育・研究の改善事項への取り組み、及び充実

自己点検・評価体制の見直し及び新たな外部評価の導入等による「内部質保証」システムの構築と情報公開の促進

2 年目を迎える学部・学科再編後の現代教養学部の円滑な運営

大学院修士課程の再編検討

2009 年 4 月に開設した心理臨床センターの円滑な運営

キャンパス整備計画の推進

経営基盤の強化

創立 100 周年に向けた中・長期計画の策定

## . 教育・研究の充実と事業

### 1. 自己点検・認証評価結果を踏まえた改善に向けての方向付け

2007 年度、2008 年度の 2 カ年に亘り、全学的に点検を行い、(財)大学基準協会の定める点検評価項目に沿って自己点検・評価を実施してきた。

本学にとって 2 度目の外部評価として、(財)大学基準協会に 2009 年度の認証評価を依頼した。

今後は大学基準協会の評価結果を受けて、その総評及び「助言」、実地視察時の意見等を基に、大学として検討し直し、2010 年度の改善計画に結び付けていく。

### 2. 自己点検・評価の実施について

大学として現状の把握と課題を探求するため、自己点検・評価を毎年行うこととし、外部評価の導入も実施する方向で具体的検討を行う。

### 3. 現代教養学部開設 2 年目の円滑な運営

2009 年 4 月に文理学部 7 学科と、現代文化学部 3 学科を統合・再編成し、1 学部 4 学科(人文学科、国際社会学科、人間科学科、数理科学科)、12 専攻を設け、「現代教養学部」を新たに設置した。リベラル・アーツ教育の新たな展開を期するとともに、社会科学系と数理科学系の充実を図るという再編の趣旨を再確認しつつ、新学部の円滑な運営に力を注ぐ。

### 4. 全学共通教育センター設置 2 年目の円滑な運営

2009 年度より設置した全学共通教育センターが 2 年目を迎えた。全学共通教育部長の下に一つのまとまりのある組織として、学科専攻科目との連携を視野に入れ、学部の全学共通カリキュラム等の評価を行い、さらなる発展・向上を目指していく。

### 5. 大学院の充実と修士課程再編に向けた検討

2009 年度に行われた(財)大学基準協会の認証評価での指摘事項の改善実施に努め、大学院の充実を図る。

基礎となる学部・学科の再編に伴い、大学院修士課程についても現代のニーズに合致した教育内容の編成とその充実を図るため、2012 年度に新たな大学院修士課程を開設するべく、2009 年度に引き続き検討を行う。

### 6. FD 活動

(財)大学基準協会の認証評価における指摘事項を基本に、引き続き FD の推進に力を入れる。

2009 年度現代教養学部の発足と学科・研究室体制の再編を契機として、学科・専攻・科目運営委員会等それぞれの領域での FD 活動を奨励し制度化した。学生による授業評価については、より効果的に個々の授業改善に結びつける方向で組織的な取り組みを強化する。

大学院においては、2003 年度に開始した「授業及び論文指導についての検討会」を継続して行い、組織的な教育改善に取り組む。

### 7. 国際交流の活性化 留学生の受け入れ、本学学生の留学の促進

留学生の受け入れ、本学学生の留学を促進するため、奨学金制度の充実など国際化に向けて、創立 100 周年記念事業の推進とも連携を取りながら進めていく。

### 8. 創立 100 周年に向けた中・長期計画の策定

8 年後(2018 年)に迎える創立 100 周年に向けて、中・長期計画を策定する。その中で記念事業、記念募金、エンパワーメントセンターなどの具体的計画を検討する。

### 9. 科学研究費等公的研究費の不正使用等防止に関する取組

2009 年度に引き続き、透明かつ現実性のある管理・監査体制を整備し、研究者及び事務職員に不正防止の意識を浸透させ公的研究費の適正な執行管理に努める。

### 10. 奨学金制度の充実

経済状況悪化の中で、学生の困窮度の割合も従来より高まっており、学内奨学金制度の充実と、一層の学外奨学金の活用を図る。

2009 年度より授与を開始した、「新渡戸稲造奨学金」(経済的状況を勘案しない育英型奨学金制度)制度の充実により、現代教養学部の入試成績上位者を対象とした優秀な学生の入学を促進する。

## 11. 心理臨床センターの開設 2 年目の充実

(財)臨床心理士資格認定協会第 1 種指定校・認定申請中

大学院文学研究科心理学専攻臨床心理学分野の学生のための実習・研修の場として 2009 年 4 月より心理臨床センターの運営を開始した。同センターの設置により 2010 年 4 月より本学が第 1 種指定校として新たなスタートを切る。

今後一層、本学の臨床心理学分野の教育研究の推進とともに、地域社会対象の心理臨床活動を展開することにより、地域社会の成長発展に寄与する。

## 12. GP 事業の継続的・発展的展開

2010 年度は 2007 年度学生支援 GP「マイライフ・マイライブラリー 学生の社会的成長を支援する滞在型図書館プログラム」を継続的に展開する。

文部科学省の補助事業が終了した「キャリア・イングリッシュ・アイランド 英語の運用能力を発言力・行動力に転化するための取組」は昨年度中にアイランドのスペースを拡大し、「東京女子大学キャリア・ツリー リベラル・アーツ教育に基づくキャリア構築支援」は、2010 年度よりキャリア・カウンセラーの増員を行い、ともに発展的に事業展開を行っていく。

## . 教育・研究環境の整備と充実

### 1. キャンパス整備計画の推進

学生・教職員にとって、魅力ある安全で爽やかな教育・研究環境の充実を目指して進めてきたキャンパス整備計画第 1 期工事(2006 年度～2013 年度)は 5 年目に入る。

本年度計画している工事は、現在本館と 1 号館に分散している事務棟を、1、2 号館に集中し 2010 年度後期開始時から使用できるよう、耐震、改修工事を行う。

また、本館についても耐震工事と併せて、1 階を教室にするための改修工事を行う。

### 2. CALL 教室の環境整備

2011 年度より LL 教室 4 室の端末を統一するため、旧機器の解体撤去、新機器設置、及びシステム設定作業を 2010 年度中に行う。

## . 経営基盤の強化

2010 年度は、現代教養学部がスタートして 2 年目に入る。一方大学院修士課程再編の検討も進んでおり、このような状況の下で新しい体制に相応しい教育・研究の質的向上を図っていくことは重要である。今後もこれを支える健全な財政基盤の構築を目指していく。

そのために毎年、財政報告書を作成し、将来を見据えた財政対策の検討材料とする。

< 2010 年度予算編成方針 >

(ア) 消費収支を均衡させ、財政の安定を図る

(イ) 収支の基盤となる入学者については、入学者目標を既定方針通り確保する

(ウ) 教育研究経費比率は 30%を超えることを目標とする

(エ) 管理経費は、聖域を設けず経費削減を継続して進める

(オ)人件費比率は 60%を下回ることとする

(カ)キャンパス整備計画に基づき、建物・設備の耐震補強、老朽化対策等を引き続き実施する

## .その他

### 1. 維持協力会の強化

教学の充実と発展のために、創立 90 周年を機に維持協力会の寄附金使用目的を、学生の奨学資金の充実として一本化し、その一環として「新渡戸稲造奨学金」を設けた。この奨学金は、経済状況にとらわれない育英型の奨学金の給付であり、本奨学金の設置が優秀な学生の確保に繋がることを期待すると共に、今後も寄附金への理解を含め支援の拡大を図り、奨学金制度の充実に努める。

### 2. 事務職員人事評価制度の導入

これまで長い間、標記制度の導入について検討を重ねてきたが、事務職員一人ひとりの啓発育成を図るために、現行の「事務職員任用・昇格基準(1980 年制定)」を見直し、新たな人事制度の下に、事務職員人事評価制度を 2010 年 1 月より導入した。導入に先立ち、2009 年 7 月より 10 月まで試行を行い、円滑な実施に向けた準備を行った。今後も同制度の公正な運用を図るため、引き続き評価者研修を行っていく。

### 3. 戦略的広報の実施

(ア) 開設 2 年目の新学部の周知と志願者の確保を目的とし、交通広告・Web・パンフレット等の制作物、受験情報誌により、市場調査に基づいた広報を展開する。

(イ) 100 周年に向けて、本学の教育理念を明確にし、認知度を高める。

以 上